

行動援護

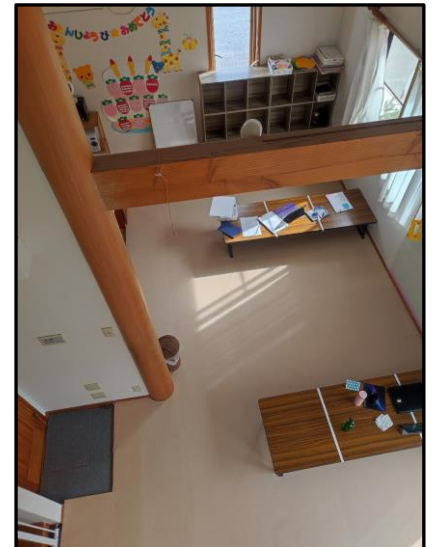
一般社団法人ライト
サービス提供責任者
小田桐 祐

自己紹介 法人

一般社団法人ライト
ヘルパーライト

居宅介護 行動援護 移動支援
ライトキッズ

児童発達支援 放課後等デイサービス
日中一時支援



行動援護とは

自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危機を回避するために必要な支援、外出支援を行うサービス

サービス内容

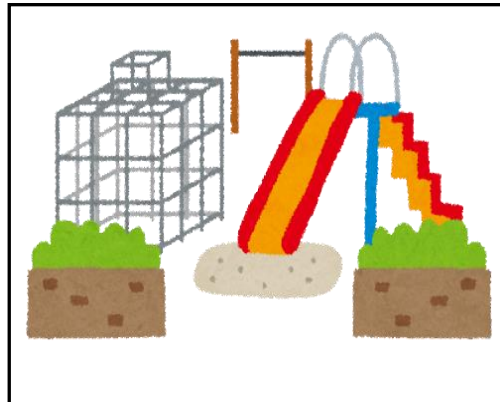
サービス内容：外出の支援

- ・目的：外出、余暇活動
- ・コース：自宅→移動→活動→移動→自宅
- ・利用時間：1時間～7時間
- ・利用時間帯：事業所通所者 平日夕方、休日
在宅者 平日日中

事業所登録者

- ・20代～40代 発達障害の診断を受けている方が多い
- ・通所施設利用者、在宅者が存在

外出、余暇活動



行動援護の長所

- ・ 移動支援のノウハウが使える
- ・ 興味関心のあることから支援を組み立てられる
- ・ 個別対応が出来る
集団活動が苦手な方でも支援できる
- ・ 馴染んだ環境で支援出来る（お決まりのコース、
外出先等）

ケース例 Aさん

- 40代 男性 自閉症
- 事業所通所中
- 平日はコンビニやマクドナルドに外出
- 休日は公園、カラオケ、外食等

ケースに合わせて支援を調整する

- 予定が気になる : スケジュールを提示する
- 移動の経験が少ない : 活動から始める
- 余暇の時間が短い : 移動と活動を組み合わせる
- 体験が少ない : 少しずつ試してみる
- 苦手なことがある : なるべく避ける

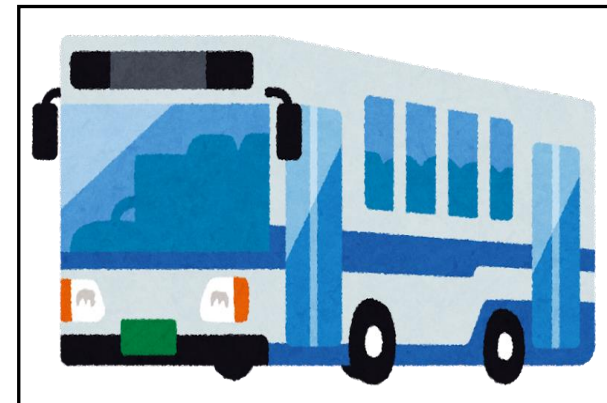
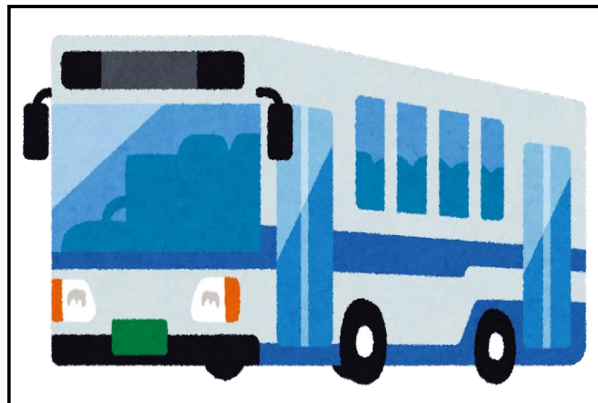
例 : 上下の移動が苦手 (階段、エレベーター等)

→平面で移動して活動する。

調整例 Bさん

公共交通の経験が少なく利用出来るか分からない

- ・好きなことから始めて経験を広げる



調整例 Cさん

好きなことは多いが長い時間楽しめない

- ・ 移動を挟みながら短時間の余暇を楽しむ

自宅→歩き→バス停→バス→岡山駅→電車→倉敷駅→歩き→ジョリーパスタ→歩き→ダイキ（ペットショップ）→歩き→くらしきみらい公園（噴水を見る）→歩き→駄菓子屋（ソフトクリーム）→歩き→倉敷駅→電車→岡山駅→ビックカメラ（電子ピアノを弾く）→バス→歩き→自宅

支援の準備

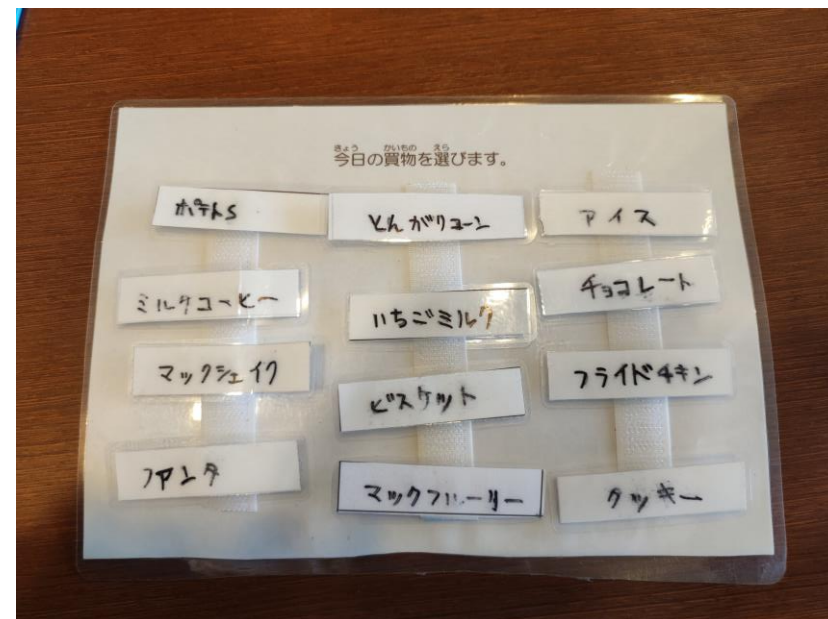
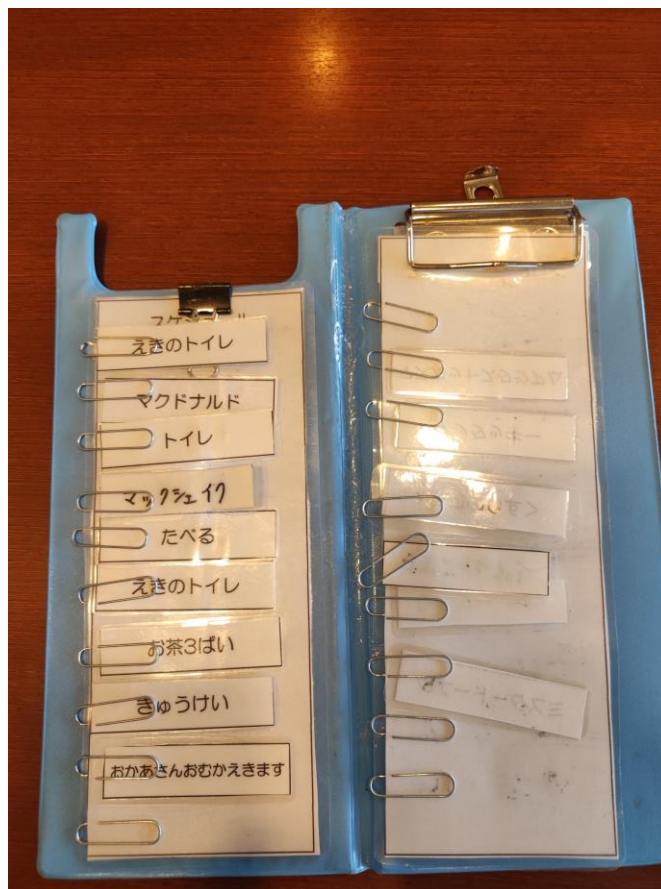
- ・ 行動援護は準備が9割
情報の聞き取り
活動の見学・同行
目的の選定・下見
ルート選定・下見
支援ツールの作成

→ 支援の開始

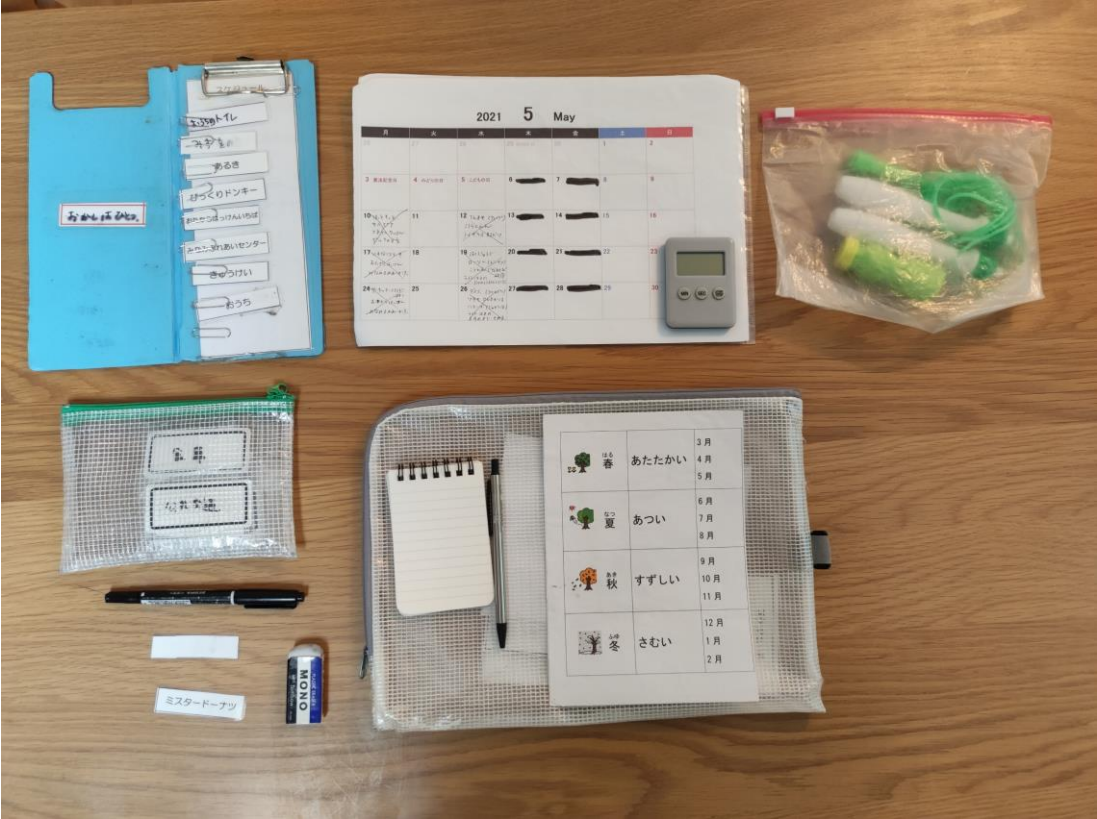
必要な情報

- 興味関心 : フックが大事
- 障害特性 : 得意、不得意、配慮点
- コミュニケーション : やり取りの方法
- 身体 : 持病、アレルギー等
- 生活歴 : これまでの出来事、好きなこと、苦手なこと、昔好きだったこと等

支援の実施



支援の実施



組み立て方 連携

- 相談支援センター : トータル計画、調整
- 発達障害支援センター : 支援の専門的な助言
- 他事業所 : 本人情報、支援方法
- 医療 : 治療方針、疾患、服薬
- 御家族 : 人ととなり、障害特性、
好き嫌い、得意不得意、成育歴、状態の見方

在宅から通所へ

行動援護に出来ること

- ・ 本人の情報の整理
- ・ 活動の組み立て、実施
- ・ 支援ツールの使用、習得
- ・ 活動の幅を広げる
- ・ 御家族のレスパイト

情報を引き継ぎ
→通所施設等次の
ステップへ